

経過の長期給付積立金の平成28年度第3四半期運用状況

- 経過の長期給付積立金の基本的な考え方
 - 閉鎖年金であることを踏まえ、年金支給のためのキャッシュフローを安定的に確保するため、安定的な元本回収及びインカムゲインが期待できる国内債券での運用
 - 国家公務員共済事業にかかる資産である「貸付金及び投資不動産」(共済独自資産:国内債券と同様の特性を有する)については、国家公務員共済の年金積立金である「退職等年金給付積立金(新3階積立金)及び経過の長期給付積立金(旧3階積立金)」で保有

- 第3四半期の収益率(期間率)は、プラス0.91%(実現収益率)となりました。
- 第3四半期の収益額は、プラス64億円(実現収益額)となりました。
- 第3四半期末の運用資産額は、7,731億円となりました。

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、情報公開を積極的に行う観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

1. 収益率の状況

(単位：%)

	平成27年度			平成28年度				
	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.25	2.37	3.71	1.16	1.19	0.91	-	3.24

【参考】

	平成27年度			平成28年度				
	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.25	2.37	3.71	1.16	1.19	0.91	-	3.24
国内債券	1.35	2.91	4.19	1.39	1.47	1.65	-	4.47
短期資産	0.02	0.02	0.03	0.01	0.00	0.00	-	0.01

(注1) 各四半期は期間率です。また、平成27年度「年度計」は平成27年度下半期の期間率です。

(注2) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

2. 収益額の状況

(単位：億円)

	平成27年度			平成28年度				
	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	81	161	242	73	71	64	-	207

【参考】

	平成27年度			平成28年度				
	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	81	161	242	73	71	64	-	207
国内債券	81	161	242	73	71	64	-	207
短期資産	0	0	0	0	0	0	-	0

(注1) 平成27年度「年度計」は平成27年度下半期の収益額です。

(注2) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

(注4) 平成28年度第3四半期の収益額には、積立金仕分けの精算による利子相当額(3億円)が反映されています。

3. 運用資産額の状況

(単位：億円)

	平成27年度		平成28年度		
	第3四半期末	第4四半期末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末
国内債券	5,803	5,354	5,004	3,834	3,947
短期資産	685	1,218	1,052	2,071	3,784
合計	6,488	6,572	6,056	5,905	7,731

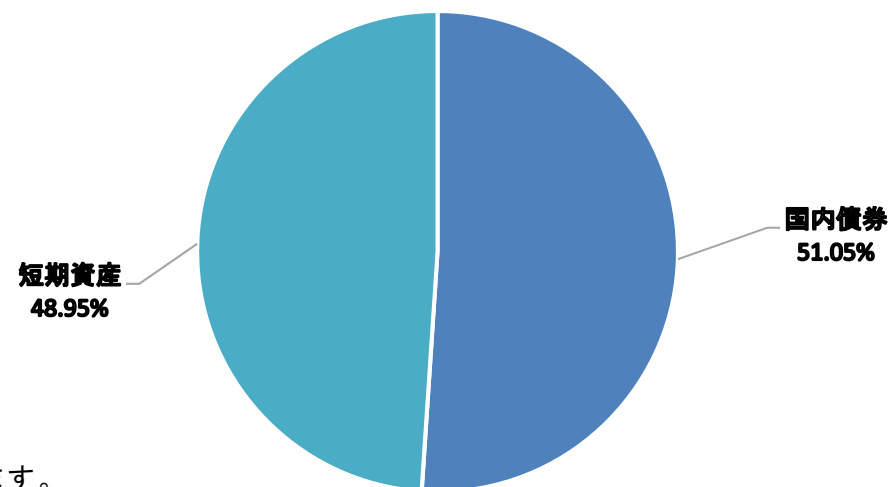
(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

(注3) 平成28年度第3四半期末の資産額は、積立金仕分けの精算による厚生年金保険給付積立金からの移管額(600億円)が反映されています。

4. 資産構成割合

	平成28年度 第3四半期末
	資産構成割合
国内債券	51.05%
短期資産	48.95%
合計	100.00%



- (注1) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。
- (注2) 財投預託金については、簿価評価としています。
- (注3) 基本ポートフォリオは、国内債券(短期資産含む。)100%です。
- (注4) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。